

コントローラ

UNICORN

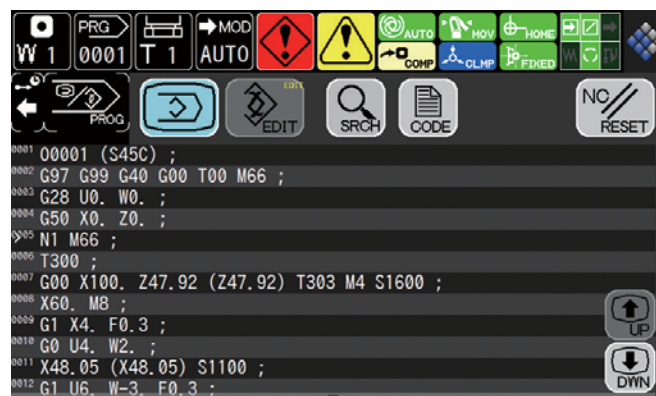


グローバルデザイン



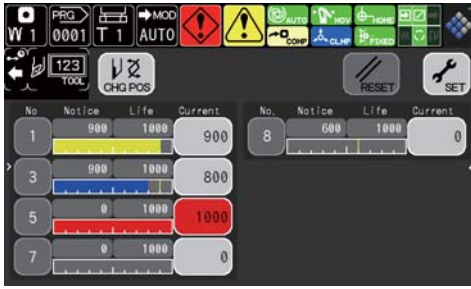
操作パネルにはグローバルデザインを採用し、言語に頼らない直感的な操作体系を提供します。タッチパネルを採用しています。

プログラム



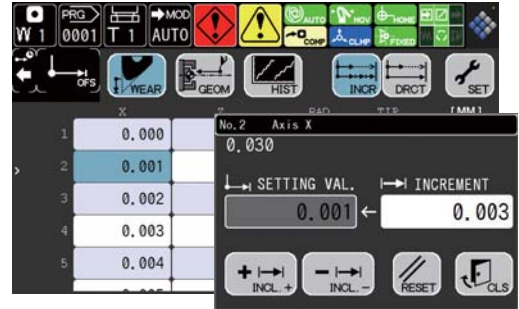
機械モジュール、ロボットは共にGコード、Mコードで構成されるプログラムで動作させることが可能となり共通の操作性を実現しました。

工具カウンタ



工具登録をすることで使用中工具だけを表示させることができます。現在値の確認や現在値のリセットを1画面で行なうことができます。それぞれの工具の使用状況もグラフで確認できます。工具交換時の機械操作手順も同じ画面内で確認することができます。設定寿命値に達する前の予報を設定することが可能です。

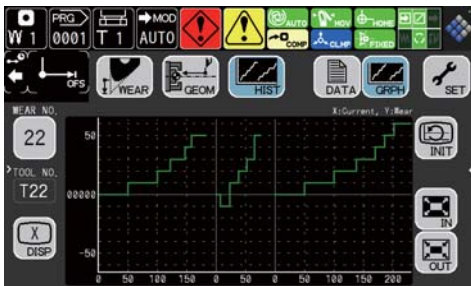
定量補正カウンタ



各補正量に対し定量値を採用しています。簡単な操作で補正量を加算/減算することができます。

品質管理サポート機能

摩耗補正履歴



登録した摩耗補正番号の補正量の変化を記録し補正履歴をグラフ化して表示することも可能です。グラフ化された摩耗補正量の変位から、工具の摩耗状況を確認することが可能です。磨耗補正番号は最大10点まで登録可能です。1点あたり最大200件の履歴を記録できます。

品質チェックカウンタ



最大8種類まで任意のカウンタを設定することが可能です。最大カウンタ桁数は8桁となります。カウントアップのタイミングはラダー回路で設定します。

保全機能

ロボットポイント

Point	X	D	RY	RZ	A	B	C
P001 [原位置]	80,000	0,000	----	----	-10,000	10,000	20,000
P002 [入口供給位置]	50,000	-90,000	120,500	84,250	----	----	0,000
P003 [出口供給位置]	200,000	90,000	120,500	84,250	100,000	0,000	50,000

ロボットの動作ポイントを直接入力もしくは、現在のロボットの座標をそのまま登録することも可能です。ワーク番号ごとの各動作ポイントを登録することができるため、ロボットプログラムの作成・編集が容易にできます。

アラームメッセージ



異常発生時には自動でアラーム画面へ切り替わります。アラーム画面では、内容詳細、対策・点検方法を確認することができます。解除後は、ワンタッチでそれまで表示していた画面に戻ることができます。アラーム履歴は、最大500件まで記録されます。